

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	自立している方の口腔ケアの仕方、口腔・義歯の状態の把握ができていない 口内の炎症や口臭、歯槽膿漏の予防が必要である	利用者1人1人に合った口腔ケアを実践し、口腔内の清潔保持に努める	ご自分で出来る所は行っていただき、不十分な所を介助する 1日1回は口腔内・義歯の状態の確認をし、状態変化時や症状の応じて受診対応を行う	1年
2	48	介護度が高くなっており、利用者個々の力に合わせた役割、楽しみごと等の把握・提供ができていない	役割意識を持ち、日々喜びや楽しみを感じながら張りのある生活をすごしていただけるよう支援する	利用者個々の“できる力”や好きな事、好きな物等の把握を行う 個別対応も交えながら時間を決めて利用者と一緒に活動する機会を設ける	1年
3	21	認知症レベルの違いにより、利用者同士の相互の関係性の構築ができていない	利用者同士の、良好な関係を築けるよう支援する	利用者同士の相性・配置に考慮し、職員が上手く間に入りながらレクや団らん等、皆さんで楽しめる内容を考えつつ、日頃の活動を行う会話をしながら寄り添う時間をもけるようにする	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。